

# 世論調査から見る政局( 改訂版 - 2008.12.10)

## ポイント

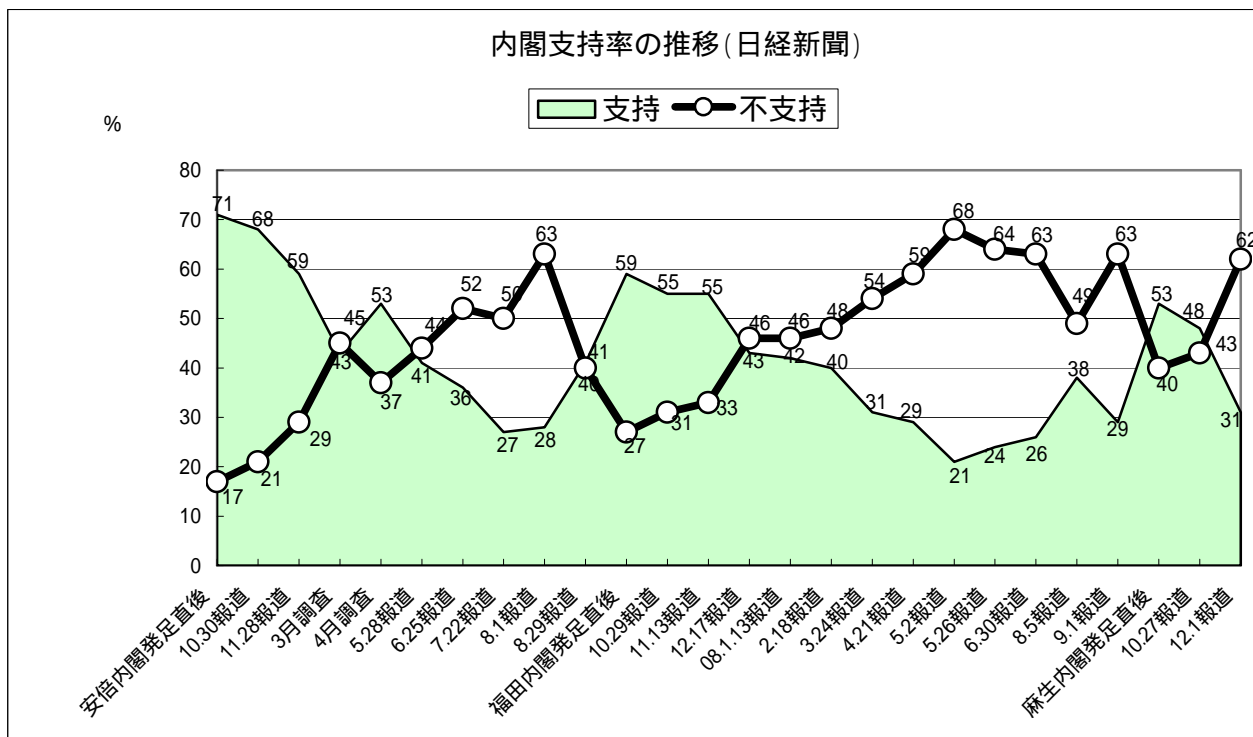
麻生内閣の支持率...わずか2ヶ月足らずで「一気に政権末期へ突入！」  
 危険ライン(支持率3割)を割り込んだ。漢字誤読で世論に馬鹿にされる宰相！  
 自民党支持率(基礎体力)は、この2年間で67%に減少。民主は156%にアップ。  
 世論の「政権交代への志向性」...もはや止められない？ 首相には小沢>麻生

### 1. 麻生内閣の支持率...わずか2ヶ月足らずで「一気に政権末期へ突入！」

12.8に一齐に主要マスコミの世論調査結果が報道されたので、の一部改訂版を出すこととした。  
 麻生内閣の支持率はわずか2ヶ月足らずのうちに、ほとんどのマスコミ世論調査で、不支持が支持を上回るとい現象が現れ、12月報道分ではすべてが「危険ライン」と言われる30%を割り込み、一気に政権末期へ突入してしまった。これまでの主要マスコミ調査では、内閣の支持率が[不支持>支持]となるのには安倍内閣では5~6ヶ月かかった。福田内閣の場合は3~5ヶ月。そして麻生内閣は1~2ヶ月という短さだ。

今回は日経新聞の調査をグラフにしてみた。ついでにお復習いをしてみると、安倍内閣(06.9.26発足)は発足直後で71%という高い支持率(不支持17%)を出したが、6ヶ月後の07年3月には支持43%<不支持45%と逆転。7月参院選で惨敗し、直後の不支持は63%にも達し(支持28%)、思いあまって内閣改造(8.27)したが効果が見られず(支持41%・不支持40%)、ついに「政権投げだし」(9.12)という結果になった。

代わって登場した福田内閣(07.9.25発足)の直後の支持率は59%(不支持27%)。安倍内閣発足直後には及ばないがどうか自民党政権を持ち直させた。しかしこの福田内閣も年金・新テロ特措法・暫定税率・日銀総裁人事などで「ねじれ国会」を乗り切れずに、早くも3ヶ月後の12月調査で支持率が逆転(支持43%<不支持46%)。後期高齢者医療制度問題なども加わり、4月



には「危険ライン」とされる支持率30%を切り29%に低下(不支持59%)。5月には不支持68%

を記録した。6月には参院での首相問責決議が採択され、7月の北海道洞爺湖サミットも効果がみられず、8月1日に思い切って内閣改造をしてみたが、ご祝儀相場も、期待したほどにはならず（支持38%・不支持49%）、1ヶ月後の9月1日に安倍内閣に続いて二度目の「政権投げだし」という暴挙に出た。

#### 麻生内閣-直近の支持率12.8

	支持率			不支持率		
	発足直後	直近	差	発足直後	直近	差
読売12.8	49.5	20.9	-28.6	33.4	66.7	33.3
毎日12.8	45.0	21.0	-24.0	26.0	58.0	32.0
共同12.8	48.6	25.5	-23.1	32.9	61.3	28.4
朝日12.8	48.0	22.0	-26.0	36.0	64.0	28.0
日経12.1	53.0	31.0	-22.0	40.0	62.0	22.0
時事11.14	38.6	38.8	0.2	34.1	36.5	2.4
NHK12.8	48.0	25.0	-23.0	40.0	65.0	25.0
ANN11.17	50.4	29.6	-20.8	33.3	46.8	13.5
NNN11.10	46.7	43.7	-3.0	37.8	38.3	0.5
JNN12.8	51.1	23.9	-27.2	47.5	75.2	27.7
FNN12.2	44.6	27.5	-17.1	35.7	58.3	22.6
報2001-12.7	47.2	22.6	-24.6	43.2	69.2	26.0
AVG	47.6	27.6	-19.9	36.7	58.4	21.8

そして鳴り物入りの総裁選挙を演出して登場したのが現麻生内閣(08.9.24)。この3年間は毎年9月に内閣交代が続いてきたことになる。この麻生内閣は、自民党にとってはよりベターな総選挙のタイミングを作るために発足させた選挙管理内閣だったはずなのだが、新内閣発足「ご祝儀相場」も53%にとどまった(不支持40%)

上の表は、麻生内閣の発足直後と直近の支持率とを比較したものだ。最初に不支持が支持を上回ったのは10月20日報道の毎日だった。毎日の調査では麻生内閣は1ヶ月も持たなかったことになる。11月に入って読売の内閣支持率も逆転し、12月8日段階では、12社中10社が逆転を報道している。

12社の直近の支持率平均は27.6%で不支持率平均が58.4%だった。発足以来2ヶ月あまりでほぼ20%ほどの増減があった。「危険ライン」と言われる30%の支持率を割り込んでいるのは9社。不支持が60%を超えてしまっているのは7社だ。

#### 【世論に馬鹿にされる宰相！...麻生総理の漢字読み間違い例】

今のうちに麻生内閣の発足(9.24)以来のお復習いをしておこう。麻生内閣は10月末総選挙を想定した暫定内閣(選挙管理内閣)的な体制でスタートした。しかし発足直前にリーマン・ショック(9.15)という世界金融危機が起こる。また内閣発足早々に、中山国土交通相が「成田・日教組・アイヌ」発言問題で辞任(9.28)。麻生首相は「景気優先」と、補正予算成立を優先させると宣言し、臨時国会冒頭解散がなくなった。民主党は引き続き解散戦略(11月末解散)をにらんで補正予算にも賛成(10.17参院で可決成立)し、新テロ特措法の審議にも協力(11.03衆院本会議通過)した。しかし10月中旬に自民党が独自に実施した世論調査では「惨敗必至」の結果が出て、自民党内では、さらに「解散先送り」論が出始める。首相は10月30日には追加経済対策(第2次補正予算)を発表。同時に「政局より政策」と解散先送りを表明し、11月総選挙がなくなった。さらに11月下旬には政府がこの第2次補正予算の臨時国会提出を取りやめ、来春の通常国会提出を決めたことにより、衆議院解散総選挙は「来年春から秋までに」という流れが作られ、臨時国会は全面対決・会期延長が確定した。マスコミは「景気より政局優先」と自民・民主の対決を批判。11月28日には小沢・麻生の党首討論が実現。どちらかというともマスコミ評では麻生氏側に分が悪い報道が多かった。支持率急落が顕著となり、自民党内でも中堅・若手や「上げ潮」派などが造反の動き。小沢氏は、麻生内閣は遠からず倒れると選挙管理内閣を提案(12.1)。麻生内閣の求心力は一気に失われてきており、今後の流れはどうなるか分からないというのが率直なところだ。

この間、田母神航空幕僚長の問題論文が発覚して更迭(10.31)。補正予算、追加経済対策が議

論される過程で、総理の資質が問われる事態が続出してきた。定額給付金のあつかい、郵政株の凍結発言、道路特定財源から「1兆円を地方交付税に」、「医者には常識が欠落」、「不摂生（病院通い）は本人の責任」発言など、世論だけでなく、自治体や自民党内族議員からの反発も起こしてきた。それでも「麻生総理は漢字を知らない」と馬鹿にされた宰相は史上初めてだろう。トリプルK Y（空気を読めない、漢字が読めない、解散も読めない）という新語も登場。ついでに「経済もよく知らない」新K Y首相という冷やかしも…。

麻生総理の漢字読み間違い例を、報道された分を記録に残しておこう。

( )内は前が正しい読み、 - 後が麻生総理の読み。

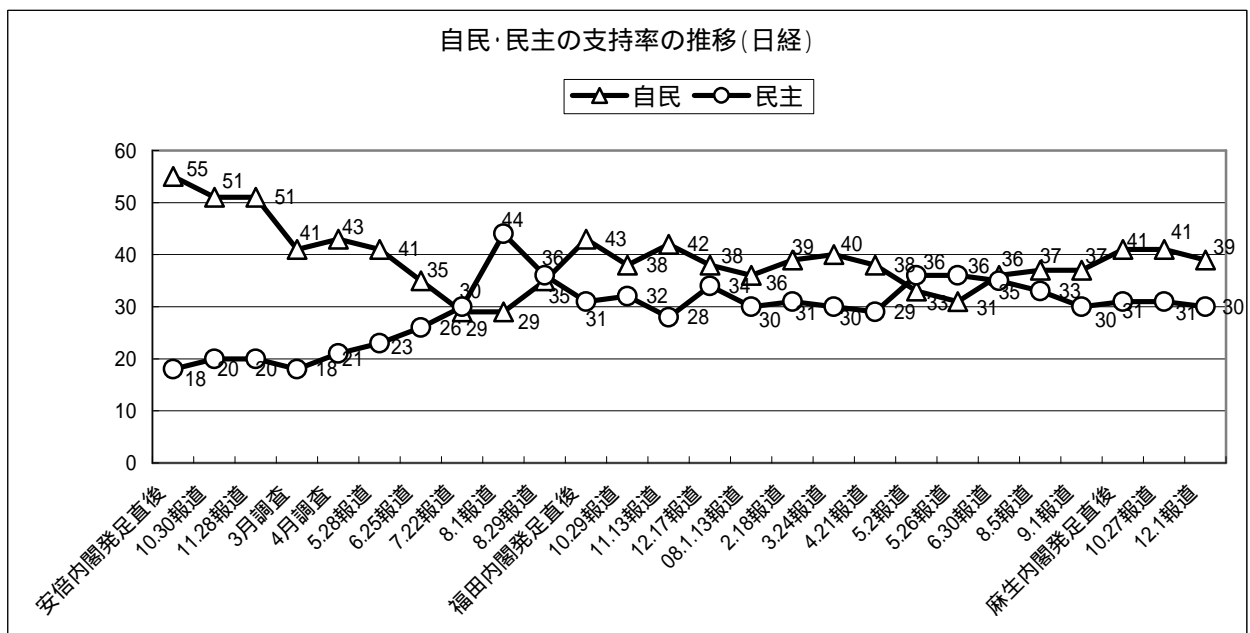
有無(うむ - ゆうむ)、措置(そち - しょち)、踏襲(とうしゅう - ふしゅう)、詳細(しょうさい - ようさい)、前場(ぜんば - まえば)、頻繁(ひんぱん - はんざつ)、未曾有(みぞう - みぞゆう)、物見遊山(ものみゆさん - ものみゆうざん)、实体经济(じったいけいざい - じつぶつけいざい)、思惑(おもわく - しわく)、低迷(ていめい - ていまい)、順風満帆(じゅんぷうまんぱん - じゅんぷうまんぼ)、破綻(はたん - はじょう)、焦眉(しょうび - しゅうび)、詰めて(つめて - つめめて)。

皆さんは大丈夫ですか？

2. 自民党支持率(基礎体力)は、この2年間で67%に減少。民主党は156%に体力アップ。

今回は自民党と民主党との政党支持率の推移を見てみよう。次のグラフは日経新聞の安倍内閣以来の変化を見たものだ。安倍内閣の発足直後には自民党の支持率は55%という高い支持率を記録していた。それに対して民主党は18%。この支持率が一時的に07参院選時に交差する。民主党の支持率が自民党の支持率を上回るという現象は、これまでも選挙時には瞬間風速的には見られた。一時的に自民党批判の無党派層が民主党支持に加担するからだ。

しかし福田内閣の発足で自民党支持が回復して、これ以来は、一時的に再交差す



るが(08年5、6月)、自民党支持率は40%弱、民主党支持率が30%前後で推移して

きている。

次の表は、マスコミ 11 社の自民・民主支持率と平均値だ。内閣はそれぞれ発足直後の支持率だ。毎日だけでなく読売までもが、直近の支持率では、民主が自民を上回ってしまった。

自民党と民主党の政党支持率の増減(安倍 福田 麻生内閣)12.8 内閣は発足直後

	自民党の支持率						民主党の支持率					
	安部内閣	福田内閣	麻生内閣	直近	差	減少率	安部内閣	福田内閣	麻生内閣	直近	差	増加率
読売	49.4	37.6	37.4	27.2	-22.2	55.1%	16.0	24.4	22.8	28.2	12.2	176.3%
毎日	42.0	32.0	28.0	23.0	-19.0	54.8%	16.0	26.0	22.0	24.0	8.0	150.0%
共同	49.2	38.4	37.0	28.9	-20.3	58.7%	16.1	28.2	28.3	28.7	12.6	178.3%
朝日	39.0	33.0	34.0	27.0	-12.0	69.2%	14.0	25.0	23.0	23.0	9.0	164.3%
日経	55.0	43.0	41.0	39.0	-16.0	70.9%	18.0	31.0	31.0	30.0	12.0	166.7%
時事	29.3	23.4	23.4	23.8	-5.5	81.2%	10.8	16.2	14.7	14.3	3.5	132.4%
NHK	41.7	32.8	37.3	28.0	-13.7	67.1%	14.4	18.9	21.0	23.7	9.3	164.6%
ANN	54.2	44.1	45.2	39.0	-15.2	72.0%	19.5	26.7	28.3	28.7	9.2	147.2%
NNN*	45.5	38.3	36.8	37.6	-7.9	82.6%	14.1	27.5	25.6	23.0	8.9	163.1%
JNN	42.4	34.1	36.3	28.7	-13.7	67.7%	18.9	29.8	23.1	25.6	6.7	135.4%
FNN	43.4	33.9	31.7	26.7	-16.7	61.5%	17.8	28.1	25.9	23.6	5.8	132.6%
AVG	44.6	35.5	35.3	29.9	-14.7	67.4%	16.0	25.6	24.2	24.8	8.8	155.5%

各社の性格を反映して政党支持率はバラバラだが、確実なのは、11社ともに自民党支持率は 6% ~ 22% の幅で減少し、平均してみると、自民党の支持率（基礎体力）は 2 年前と比べて 6.7% に落ち込んでいることだ（3割強の支持者離れ）。これに対して、民主党は +3% ~ 13% の幅で増加し、基礎体力も 15.6%（約 6割の支持者増）になっていることである。今まで何度も指摘してきたが、安倍内閣以来のこの 2 年間では、自民党の支持率が 1ランクダウンして、反面、民主党の支持率が 1ランクアップしている状態が続いていることだ。今回の表でも、明瞭に、このことが実証されていると言ってよいだろう。

### 3. 世論の「政権交代への志向性」...もはや止められない「政権は民主中心」。

首相には小沢 > 麻生(報道分すべてで)

それでは「世論の政権交代への志向性」はどう変化しただろうか。11月と12月に掲載された分を付け加えたのが次ページの表だ。

まず「衆院選での投票先・比例」については、今回は読売でさえも「自民へ」24.2% (前回比 8%減) に対して、「民主へ」が 40.2% (前回比 9.6%増) と、一気に逆転してしまったのが特徴だ。読売の自民党支持率 27.2% にまでダウン。民主党支持率が 28.2% だから、「自民へ」は支持率よりも低くなって、「民主へ」は支持率の 4割以上増して投票してくれそうだ。

時事も 11月に初めて報道されたが、「自民へ」が 30.9%、「民主へ」は 30.7% だから、ほとんど五分になっている。時事の政党支持率は自民 23.8%、民主 14.3% だから、「自民へ」は 3割増、「民主へ」は支持率の 2.1倍になっている。また朝日と共同はいずれも「民主へ」が優位。

「次の政権」では、調査が報道されているすべて（共同、朝日、読売、ANN、FNN）が「民主党中心の政権」が「自民党中心の政権」を上回ったのが特徴だ。

さらに「勝ってほしい政党」では、毎日、JNN、NNN、FNNとも、ほぼ一貫して「民主党に勝ってほしい」という傾向値が出ている。「政権交代への志向性」はもう止められない流れになってきている。

最後に、12月の調査では「次の首相には誰がふさわしいか」で、はじめて小沢氏

が麻生首相を上回ったことが特筆される。朝日は「小沢さん 35%、麻生さん 30%」、毎日「小沢代表 21%、麻生首相 19%」、共同は「小沢氏 34.5%、麻生氏 33.5%」、読売も「小沢代表 36.4%、麻生首相 28.8%」、FNNが「小沢一郎 11.4%、麻生太郎が 8.8%」、JNN「小沢 33%、麻生 31%」などだ。

テレビ系世論調査はなじみが少ないので...ANN(報道ステーションなど)、NNN(日テレ系)、JNN(TBS、ニュース23など)、FNN(フジ・産経グループ)、報2001(新報道2001)

世論の政権交代への志向性(11-12月報道分)12.8

読売	衆院選で投票・比例		共同	政権は		毎日	勝ってほしい政党	
	自民へ	民主へ		自民	民主		自民	民主
4.3報道	26.4	28.9	1.13報道	35.0	41.5	3.3報道	34	44
5.20報道	27.6	26.2	2.11報道	36.0	40.2	4.7報道	36	40
6.17報道	25.1	27.5	3.17報道	38.5	37.3	5.3報道	24	51
7.15報道	25.6	26.9	4.6報道	32.9	39.8	6.16報道	25	46
8.3報道	30.8	34.2	5.3報道	26.7	50.0	8.3報道	31	46
8.12報道	31.3	25.1	6.14報道	35.1	40.4	9.26報道	41	37
9.12報道	39.3	33.1	7.13報道	31.2	45.3	10.20報道	36	48
9.26報道	37.0	29.5	8.3報道	34.8	48.2	12.8報道	29	46
10.13報道	38.9	31.4	9.4報道	43.3	41.7	JNN		
11.4報道	32.2	30.6	9.26報道	38.1	43.8	9.8報道	42	52
12.8報道	24.2	40.2	10.20報道	38.3	43.0	NNN		
朝日			11.11報道	36.1	43.2	9.7報道	35.7	43.7
5.2報道	22	39	12.8報道	33.1	45.4	9.26報道	37.8	44.3
5.20報道	23	39	朝日			10.13報道	39.6	41.6
6.17報道	23	36	9.4報道	32	41	11.10報道	39.2	42.6
8.3報道	25	32	9.26報道	39	40	FNN		
9.2報道	27	31	10.6報道	34	40	9.26報道	40.7	48.5
9.4報道	28	32	10.15報道	32	38			
9.26報道	36	32	10.28報道	33	37			
10.6報道	33	34	11.11報道	29	40			
10.15報道	32	32	12.8報道	29.0	43.0			
10.28報道	33	30	読売					
11.11報道	30	33	8.12報道	43.2	35.1			
12.8報道	28	36	9.12報道	50.9	35.6			
共同			9.26報道	46.9	35.6			
9.4報道	38.4	34.9	10.13報道	22.4	28.0			
9.26報道	34.9	34.8	11.4報道	18.8	20.3			
10.20報道	32.7	35.9	12.8報道	12.2	20.8			
11.11報道	33.6	35.5	ANN					
12.8報道	27.4	38.3	9.8報道	36	41			
日経			9.26報道	45	37			
9.26報道	36	33	10.5報道	42	39			
10.27報道	36	31	11.16報道	39	42			
時事			FNN					
11.14報道	30.9	30.7	9.26報道	24.1	32.1			
JNN			12.2報道	21.4	29.4			
9.8報道	30	37						
FNN								
9.26報道	36	39.3						
NNN								
10.13報道	35.4	32.5						